日本近世史研究

[キーワード：江戸時代・思想史・地域史]

教授　桑原　恵

〈研究の概要〉

江戸時代後期の思想史、主に地域リーダーの思想を研究している。また、地方史料を調査し解読・分析を行うこともしている。私自身の研究テーマは、国学思想の展開であり、江戸時代後期の洋学思想の受容による国学思想の変容や発展などを研究することである。また、自治体史の編纂にも関わったこともあり、文化・教養という側面から地域の歴史を読み解く研究も行っている。近年は、徳島の地誌である『阿波志』の調査も行っている。

地域研究という観点からは、徳島藩主蜂須賀家10代重喜が開いた万年山墓所について、儒葬墓を拓いた意図に込められた養子藩主の「家」意識を、祖先祭祀の関係から明らかにしたことがある。また、上層農民の自己形成過程に関して、地域と自己の「家」との関わりが大きく影響することも明らかにし、個人が社会的な使命を自覚して成長するために、「家」や地域との関わりが大きいことを明らかにした。

また、自治体史との関わりでは、大阪南部の熊取町史や泉佐野市史の編纂に関わり、資料の調査・収集・解読・執筆を行っている。県内の地方史に関しての叙述では、美馬市が編纂し発行している美馬市民双書の近刊『江戸時代を生きた美馬の人びと』の一部を執筆した。史料に基づいて江戸時代の社会を市民に伝えることも研究の一環と考えている。

その他徳島県や徳島市の文化財保護審議会の委員を務めている関係から、県内の文化財に関しての調査・研究も行っている。この場合は、主に文献資料の解読や調査・分析を主に担当することとなる。

以上、私個人の主たる研究テーマは思想史であるが、地域史を明らかにすることも研究テーマとしており、古文書調査とその解読・分析から明らかになる江戸時代の地域社会の諸相を解明することも研究テーマとしている。

〈主要研究業績〉

・桑原恵（2004年）『幕末国学の思想～コスモロジー／政治運動／家意識～』、大阪大学出版会
・桑原恵（2006年）「地域史の叙述と自己形成」平川新・谷山正道編『地域社会とリーダーたち』 吉川弘文館
・桑原恵・逢坂俊男・羽山久男他（2017年）『江戸時代を生きた美馬の人びと』美馬市教育委員会
・桑原恵（2010年）「国学思想に見るジェンダー ~ケガレとムスビをめぐって~」義江明子・竹村和子編『ジェンダー史叢書3 思想と文化」 明石書店
・桑原恵（2007年）「近世農民の「家」と家族」『徳島大学総合科学部人間社会文化研究』Vol.14
・桑原恵（2008年）「蜂須賀家家臣団成立書の「乳人」「老女」関係史料について」『徳島大学総合科学部人間社会文化研究』Vol.15
桑原恵（2016年）「養子藩主の祖先祭祀, --- 万年山墓所をめぐって ---」『史窓』No.46

〈地域（行政）、NPOや企業との連携・共同研究実績〉
徳島県内の文化財保護に関する調査等。

〈地域（行政）、NPOや企業と連携・共同研究可能なテーマ〉
江戸時代の歴史資料を分析する研究に関してであれば、特に分野を特定しない。

専門分野 ：江戸時代の日本史に関する研究

E-mail: megumik@tokushima-u.ac.jp

Tel： 088-656-7157

詳細情報： http://pub2.db.tokushima-u.ac.jp/ERD/person/60500/work-ja.html